

JR大阪駅（うめきたエリア）

2023年にLIXILのIoTトイレを導入。センサーによるトイレの使用回数や水石けんの補充タイミングなどをリアルタイムで可視化、シャワートイレの一括温度設定に対応。大便器には「詰まり検知」がついており、水を流し過ぎてトイレの水があふれる前に洗浄ボタンが停止。床に汚水があふれることがなくなり、清掃の負担軽減につながっている。一般トイレ内にはオストメイト対応流しや幼児用器具を備えた広めブースを設置し、さまざまな利用者に配慮している。

施主：西日本旅客鉄道株式会社
設計：ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
施工：大鉄工業・清水建設特定建設工事共同企業体
所在地：大阪府大阪市北区梅田3-1-1
竣工：2023年3月（新築）

<一般トイレ>

クイックタンク式壁掛大便器 (IoT対応品) : C-P111PA-UMK・DQ-PB150P-UMK
シャワートイレスリムタイプ (IoT対応品) : CW-PC11FLQE-NECK-UMK1
小便器 (IoT対応品) : U-A51AP-UMK
洗面器 (IoT対応品) : L-A955(1)A2E-UMK
オートソープ (IoT対応品) : KS-931MTP-UMK-Z1
オストメイトパック : PTOM-B210W
ベビーキープ、おむつ交換台 : AC-BK-F62, AC-OK-21F
チェンジングボード : AC-CB-01

<バリアフリートイレ>

クイックタンク式壁掛大便器 (IoT対応品) : C-P111PA-UMK, DQ-PB150P-UMK
シャワートイレスリムタイプ (IoT対応品) : CW-PC12FLQE-NECK-UMK1
背もたれ、はね上げ式手すり : KFC-276T1U, KF-471EH60J
洗面器、自動水栓、水石けん入れ : L-275AN, AM-311CV1, KF-24F
手洗器 : AWL-71U2AM(P)(100V)
オストメイトパック : PTOM-B210W
ベビーキープ、おむつ交換台 : AC-BK-F62, AC-OK-21F
チェンジングボード : AC-CB-01



男性用トイレ 内観

関西国際空港へのアクセスおよび広域ネットワークの強化に大きく貢献する大阪駅の新たな拠点。1日の乗降客数が30万人を超える中ででの清掃作業の効率化に挑戦。



男性用トイレ 広めブース (子ども連れ配慮)



詰まり検知センサー（楕円部分）が付いたIoTトイレが水があふれを未然に防止。



駅舎外観



トイレ入り口まわり



バリアフリートイレ入り口まわり



バリアフリートイレ



男性用トイレ 小便器



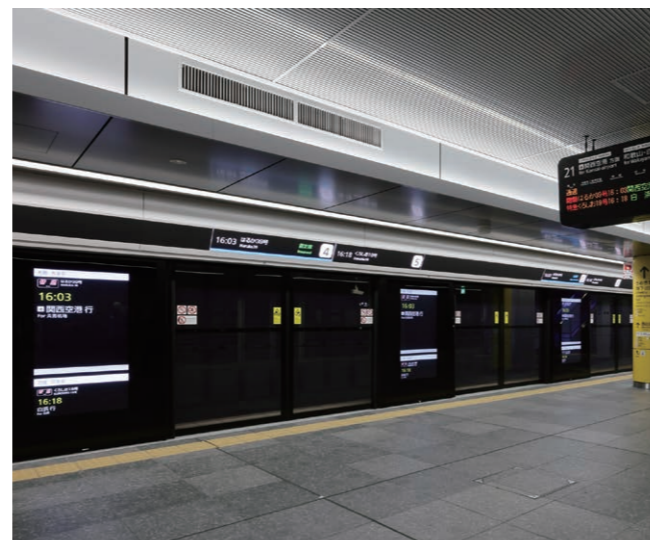
女性用トイレ 大便器ブース・ピクトサイン



女性用トイレ 広めブース(オストメイト配慮)



スタイリングコーナー (左)女性用トイレ・(右)男性用トイレ



列車の車種に合わせて移動するフルスクリーンホームドア。上部に乗降ドアの位置が示される。



左手が顔認証改札。定期券購入者があらかじめ顔を登録することで、何もかざすことなく通過できる。



駅構内のサインはすべてデジタルサイネージになっており、天井も未来的なデザインに。

未来の駅に向けたイノベーションを起こすさまざまな技術を導入。(フルスクリーンホームドア、顔認証改札、デジタルサイネージは他社品となります。)